



「しっかり発言、きちんと報告します」市政に関する、ご意見・要望をお聞かせください。メールアドレス kyousankaneko@yahoo.co.jp



就学援助、「審査要件の緩和を検討する」と答弁

就学援助は、憲法第26条が定める「義務教育は、これを無償とする」という原則に基づいて、小中学校に通学する児童生徒の経済的に困難な保護者に対し、学用品や学校給食費、修学旅行などについて援助する制度です。



毎年、文科省が都道府県別の就学援助の実施状況調査を公表。京都の認定率約20%に対し、千葉県は平均8%、市川市も同じです。東京都大田区では希望の有無にかかわらず全員から書類を提出させ

京都の認定率約20%に対し、千葉県は平均8%、市川市も同じです。東京都大田区では希望の有無にかかわらず全員から書類を提出させ

市川市の認定率約8%

6月市議会の一般質問で、私、金子は、就学援助制度の拡充、聴覚障がい者への支援を求める質問。その要旨を紹介します。

世帯構成	持家	借家
母、子（小1）	約271万円	約379万円
父、母、子（小1） 子（4歳）	約392万円	約490万円
父、母、子（中1） 子（小4）	約431万円	約531万円

※世帯給与収入の場合の目安（市川市）

【金子】7人に一人の子どもが貧困状態である。就学援助が20%になつて当然と考える。東京都に近づけるために何が必要か。

「丁寧に説明し、援助率を高める」

ています。



【金子】子どもの貧困対策として、思い切った対策を取る必要があるのではないか。
【村越市長】本市としてもしっかりと取り組んでいく。

【学校教育部長】審査要件の区別を設定していない自治体もあることから、今後は、先進市を参考に本市の状況に適した方策を検討していく。

【金子】子どもの貧困補助はあります。浦安市は3万5千円、船橋市は非課税世帯に対し、2万円を上限として補助しています。市川市は、高齢者への補助はありません。

【金子】聞こえが悪くなると、会話があつくなりになり、疎外感を感じ、抑うつ状態になりがちであり、その悪循環で認知症になる可能性が高いと言われています。本市でも聴覚障

「支援を検討する」

【学校教育部長】今後も更なる周知の拡充に向けて、丁寧な説明を統一していく。学校との連携、保護者会でも「お知らせ文書」の配付や、ホームページも充実させ援助率を高めていく。

「先進市を参考に区別を見直す」





若者憲法集会

希望ある日本へ

「若者で会をええじ」(若年政治家連携会議)主催の「若者憲法集会」が開催されました。多くの若者が喜んで、多くの意見を出し、意見交換を行いました。

「若者で会をええじ」は、日本共産党の若手議員による議論会です。

日本共産党



無料法律相談会

【相談日】 【担当弁護士】

7月9日(火) 白井 幸男

8月6日(火) 井出 達希

午後2時から5時

【場所】 仮本庁舎です。

※相談を受けたい方は事前の予約が必要です。党市議か市役所（電話334-1111）共産党控室へご連絡ください。生活相談は、毎日受け付けています。党市議に気軽に相談してください。



市内を走り回っています。
す。ぜひ、力を貸してください。

日本共産党への期待の声

「市政アンケート」の回答が次々と届いています（写真右）。その中から共産党への主な意見や要望の内容をお知らせします。

○これからも応援していきます。頑張ってください。（柏井町20代）

○いつも住民の方々の声を取り上げて頂き、感謝しています。

（宮久保：70代）

○自民党の評判は良くない割には支持者が多いのが現実です。なんとか野党がまとまり日本を動かしてほしい。応援しています。

○消費税ではなく所得税の累進を強くすべき。大企業の課税も賛成。大学の奨学金も夫婦で毎月7万円返済しています。補助してほしい。

（南大野：30代）



○戦後の共産党は全く近づけない存在でした。現在は共鳴するところ多く、発展を期待しています。

○競争社会でなく周囲の人々に目が行き届く社会、余裕を持って助け合う社会を願います。（大野町：70代）

○共産党の方々信頼できます。大いに躍進が必要です。（曾谷）

○口先だけでなく、本当に国民のためを思い活動しているのが御党だとわかっています。しかし、政治に関心のない人は共産党という名だけで拒否したり、それが私には悔しく勿体なく思います。（宮久保：60代）

共産党が伸びるのを一番嫌がるのが自民党

日本共産党の女性議員比率が各政党の中で一番高い。女性の声をもっと届けてほしいわよね！



○自民党が長期政権になるとレベルの低すぎる大臣や議員が増える。共産党が伸びることが自民党は一番いやがる「目の上のたんこぶ」だ！

（大野町：60代）

○今後ともこの市政アンケート等で市民の生の声を取り上げ、市政に反映して頂きたい。（大野町：60代）。

編集後記

お気軽に 相談を

仕事
くらしの
悩み

メール : kyousankaneko@yahoo.co.jp

連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)